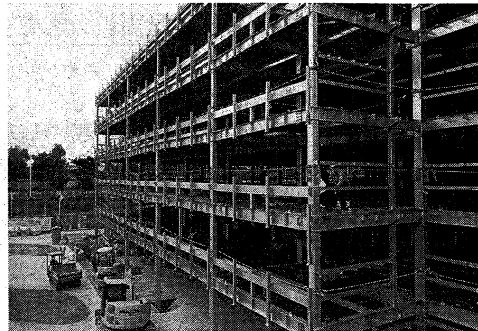


JFEシビル 那覇立駐の施工順調

メタルパーク 用 塩害対策も万全

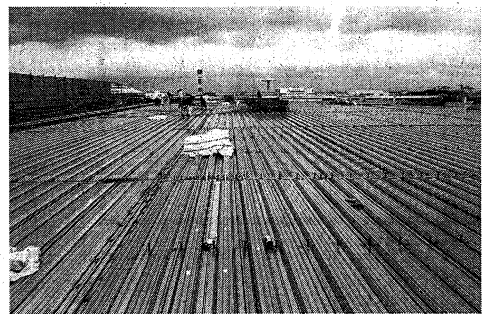


JFEシビルはこの「たJFEシステム建築」の協力を機に、那覇空港新立地駐車場(仮称)建設工事を開催した。

メタルパークが沖縄で連続採用の見学会を開催した。メタルパークを採用した駐車場では、鉄骨建方中の案内。那覇空港の敷地内といった特

殊事情、沖縄県の気候の特色に配慮しながら、順調に施工が進んでいる。

「塩害地での耐久性を考慮した仕様になっている(現地のJFEシビル担当者)。海に近い立地のため、塩分による錆の発生防止が求められた。そのため、JFE建材の高耐食性仕様のQ1デッキを採用。鉄骨外周部は溶融亜鉛めっきの上に、フ



万全の塩害対策

材在庫が少ないことによる工程に合わせ、資材発注も必要となってくる。細部に気を使いながら、今年9月末の完成に向けて工事が進められている。収容台数は計1226台を計画しており、延床面積は約3万平方メートルと広いのも特長のひとつ。施工エリアが広いため、施工は第1期、第2期工事に分けて行われた。1フロアあたりも通常は4000平方メートル、8000平方メートルまで対応可能な面積拡大認定を受けている。

「那覇空港新立地駐車場(仮称)建設工事」の発注者は那覇空港ビルディングで、設計・監理は安井建築設計事務所、元請は大城組が担当。駐車場施工をJFEシビルが担当している。

那覇空港のほか、沖縄産業支援センターでも立体駐車場を受注。実績を重ねることで、沖縄県での受注がさらに拡大していきそうだ。

那覇空港敷地内ということで、火気の使用時前の報告、ターミナルビル前面道路の搬入出車両の通行禁止など多くの制限もある。また、台風が来るときの作業調整や、県内の資